

標 題 : Virgin Olive Oil Study (VOLOS): vasoprotective potential of extra virgin olive oil in mildly dyslipidemic patients
バージンオリーブ油研究 (VOLOS) :
軽度脂質異常症の患者におけるエクストラバージンオリーブ油の血管保護の可能性

著 者 : F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬理学部)

掲 載 誌 : Eur. J. Nutr. 2005 Mar; 44: 121-127. [Epub 2004 May 5.]

要 旨 :

背 景 : *In vitro* で、オリーブ油のフェノールは強力な抗酸化活性および酵素調節活性を發揮する。

研究の目的 : 我々は軽度脂質異常症の患者で、エクストラバージンオリーブ油の血管保護の可能性を比較的に評価する。

方 法 : 22 人の患者に、エクストラバージンオリーブ油つまりフェノールが豊富、または精製オリーブ油つまりフェノールが不足(それぞれ EVOO または ROO、ほぼ同様な脂肪酸組成)をクロスオーバー法で 40mL/日投与した。

それぞれの処置(投与)を 7 週間実行し、間に 4 週間のウォッシュアウトがあった。

血漿の抗酸化能力、血清トロンボキサン B₂(TXB₂)生成および尿のイソプロスタニン排泄を、心臓予防の可能性および血管機能の代理マーカーとして評価した。

結 果 : 血漿の脂質/リポタンパクに対する影響は認められなかった。

逆に、エクストラバージンオリーブ油摂取は循環系マーカーに対する良い影響と関連した。

つまり、エクストラバージンオリーブ油を投与したときには両方とも、血清の TXB₂ 生成の減少および血漿の抗酸化能力の増加が観察された。

どちらの投与もイソプロスタニン排泄には有意な影響がなかった。

結 論 : 軽度脂質異常症の患者によるエクストラバージンオリーブ油の摂取は、心臓血管系状態の循環系マーカーの良い変化と関連する。

現在の知識に基づくと、これらの影響は心臓予防と関連する可能性がある。

キーワード : アテローム性動脈硬化、抗酸化物、冠動脈疾患、フリーラジカル、オリーブ油、イソプロスタニン
